



まきび通信

校訓
夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校
学校だより
2学期末特別号

平成最後の年末を迎えようとしています。今年を表す漢字は「災」という報道がなされていましたが、この漢字のようにまきび支援学校にとっても大変な一年になりました。児童・生徒・保護者・その他関係者の皆様のご協力のおかげで、毎日の学校の教育活動が行われていることに心より感謝申し上げます。

さて、12月現在のまきび支援学校本校地や学校周辺の様子をお伝えします。

改修工事はまだ始まっていません。被災後の業者清掃が終わり静かなままです。校舎前のサザンカの花が咲きました。また、地域の方から提供を受けて、授業で植えた苗も花を咲かせ校門付近を彩っています。

各地から図書の寄贈など支援物資を送っていただいたり、沖縄の知P連9校より「一日も早い復興を心より申し上げます。」というメッセージと共に千羽鶴を送っていただいたり、さだまさしさんや秋川雅史さんからの直筆の応援サインをいただくなど、日本全国からの温かいご支援をいただいています。

学校周辺は復旧に向けての工事が進んでいます。学校の西側の田んぼには、堤防の改修工事用の土が運び込まれ、パワーショベルの音が絶えず聞こえています。ダンプカーが頻繁に通い、堤防工事が急ピッチで

進められています。また、周囲の水田も草が生い茂っていましたが、中にはきれいに草が刈られ、たまった土砂を撤去する工事が行われている水田も見られます。

本校の復旧工事については下記のとおりです。今後、工事が始まりましたら様子をお伝えしていきたいと思っています。

来年は、「災い転じて福となす」ということわざのように、良い一年になってほしいと願っています。皆様良いお年をお迎えください。



災害復旧工事計画について

現在、復旧工事の設計が完了し、12月から施工業者を決める入札の手続きに入っています。1月中旬には、施工業者が決定され、実際の着工は、2月に入る見込みで、8月中の完成を目指しています。